

令和4年第2回 府中市地域公共交通協議会会議録（要旨）

開催日時 令和4年12月20日（火） 午前10時から11時30分まで

開催場所 府中駅北第二庁舎3階会議室

出席委員等 19名（名簿順）

森本章倫委員、岡村敏之委員、榎本聡委員、篠田貴宏委員、岩澤貴顕委員、早田俊介委員、古谷弘文委員（代理：平井氏）、小宅肇委員、平野景一委員、清家裕之委員、鈴木淳委員（代理：中川氏）、飯箸俊一委員、堀木智浩委員、小町篠委員、野田和彦委員、河井文委員、北村のぞみ委員、林田あゆみ委員、松村秀行委員

欠席委員 1名（名簿順）

松村一秀委員

事務局

松本計画課交通企画担当主幹、小林計画課長、國分計画課長補佐、

山下部計画課交通企画担当主査、小野崎計画課主任、荒井計画課事務職員

傍聴者 なし（事前申し込みが1件あったが来場せず）

議事次第

1 開会

2 議題

協議事項 計画素案の概要及び施策・事業について

3 その他

4 閉会

会議概要

事務局

それでは定刻でございますので、ただいまから令和4年度第2回府中市地域公共交通協議会を開会していただきたいと思います。

開会に先立ちまして、都市整備部次長の高橋が公務により欠席となりますので、計画課交通企画担当主幹の松本よりご挨拶申し上げます。

事務局

委員の皆様、こんにちは。交通企画担当主幹の松本でございます。本日はお忙しいなかお集りいただきまして、誠にありがとうございます。

本日の議題は、計画素案の決定でございます。計画に記載する、策定の背景から事業設定までの一連の流れをご確認いただき、過不足ないかをご議論いただければと思います。

なお、3月に予定している協議会で、一部の詳細事項やデザイン等を加えたものをお示しいたしますので、本日は、論理構成を中心に、皆様から貴重なご意見をいただければと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

事務局

それでは、本日の資料の確認をお願いします。

(当日資料の確認)

事務局

以降の議事進行につきましては、森本会長をお願いします。よろしくお願ひします。

会長

ただいまから、令和4年度第2回府中市地域公共交通協議会を開会いたします。まず、本日の委員の出席状況について、事務局から報告をお願いします。

事務局

(松村一秀委員の欠席並びに、古谷委員の代理として小田急バス株式会社バス事業本部計画部の平井氏、鈴木委員の代理として国土交通省関東運輸局東京運輸支局運輸企画専門官(総務企画担当)の中川氏が出席する旨報告)

会長

つづきまして、傍聴者の有無について事務局から報告をお願いします。

事務局

(1名の傍聴希望があったものの現時点では来場していない旨報告)

会長

来場された際は傍聴を許可するものとしてよろしいでしょうか。

(異議なし)

会長

それでは、事前にお配りした次第に従いまして議事を進めます。

次第2「議題」の「協議事項」、「計画素案の概要および施策・事業について」、事務局より説明をお願いします。

事務局

(資料1に基づき1序論～6目標・評価指標まで説明)

会長

策定までのスケジュール感を最初に教えてください。

事務局

本日の協議会で素案の内容を決定していただき、1月11日～13日の間に市内各所において市民向けのオープンハウスを行う予定です。オープンハウスにおいて市民の方からご意見をいただいたのち、計画案としてとりまとめ、2月に部会、3月に協議会を行いまして、計画案の答申をいただければと考えております。

会長

市民の方に見ていただく前の段階のチェックということですが、

現時点で入っていない図表がいくつかありますが、1月までに入るという理解でよいでしょうか。

事務局

1月に行うオープンハウスでは、計画素案の要約をお見せしますので、現時点で入っていない図表については、作成が間に合えばパネルに使用する可能性もあります。

会長

41ページの方針実現後のイメージ図などはインパクトがありますが、オープンハウスに間に合わなければ計画案の段階までに入れるということでしょうか。

事務局

41ページの方針実現後のイメージ図はオープンハウスまでには間に合わないと思われませんが、この後ご説明します65ページ以降で、施策・事業の展開をイメージ図にしていますので、これらも活用しながら視覚的に理解していただくようにしたいと思います。

委員

31ページの課題2で「移動ニーズに合わせたちゅうバスの見直しが必要」とありますが、当初の運行目的は達成できているものの、分析の結果、市中心部だけでない回遊性の向上なども今後は考慮が必要という議論の流れがあったと思いますので、「移動ニーズの多様化に合わせた」との文言が適切かと思われました。

もう1点、説明文の黄色の文字が見辛く字も小さいので、高齢の方などに配慮した工夫がもう少し必要かと思えます。

事務局

31ページについては文言を改めて検討いたします。

文字の見辛さについては大変申し訳ございません。製本の段階では解像度を上げるなどにより見やすくするほか、少なくともオープンハウスにおいては見やすさに配慮します。

会長

図中の文字が小さく判読できない箇所が多々ありますので、工夫をお願いします。

また、32ページの課題1の図で、「駅まで歩きや自転車で行くのが大変になる」、「300m以上」との記載がありますが、歩きで300mは理解できますが自転車で300mには違和感があります。徒歩と自転車はひとつにまとめないほうがよいと思いますが、表現方法を工夫してください。

副会長

会長のご指摘のほか、課題1は日常生活圏内の移動に関する課題であり、電車に乗って移動する際の課題ではないため、「駅まで」という表現が適切か、検討が必要と思います。

会長

ありがとうございました。

ほかにご質問やご意見がなければ、引き続き事務局より説明をお願いします。

事務局

(資料1に基づき7施策・事業～参考資料まで説明)

委員代理

72ページの事業1、74ページの事業5に共通するのですが、ほかの事業と比べて具体的に何を行うのか分かりづらいと感じます。今後ネットワーク再編計画を策定するなかで具体化するのだと思いますが、本計画にも、もう少し例示や補足説明があった方がよいと思いました。

また、76ページの事業11、78ページ事業16について、説明を見ると内容が重複しているように見えますが、分けている意図があれば補足が必要かと思いました。

事務局

事業1については、62ページの市内公共交通ネットワーク構築の基本的な考え方において、鉄道駅を中心とした利便性の高い交通ネットワークの維持・改善を掲げており、地域公共交通ネットワーク再編計画を策定する際には、既存の充実した鉄道ネットワークを活用しながら、事業2のバスネットワークの効率化や事業3の地区内交通手段の在り方検討を進めていくという趣旨ですが、これがわかりやすいよう記載したいと思います。

事業11、事業16については、階層ごとに施策・事業を検討した結果、ご指摘のとおり類似する内容となっておりますが、趣旨としては、事業11は、実施主体を問わず様々な輸送資源を活用しながら地区内交通の最適な移動手段を検討するもので、事業16は、交通事業者で対応しきれないフィーダー交通について本市が掲げる市民協働による取組を通じて対応できるか検討するものと事務局としては区別しております。こちらについてもわかりやすいよう記載したいと思います。

委員代理

つづけて、指標について、86ページの下のPDCAサイクルの図では、各年度の実施事業を踏まえてその年度内に評価するように見えますが、87ページの短期のPDCAサイクルの図では、6月の部会、2月の協議会でそれぞれ前年度実績を踏まえて評価するように見えます。実際には、年度が終わらなければ実績を集計できないので、早くても評価できるのは次年度の6月ごろになるのではないかと思います。正しいスケジュールはどちらでしょうか。

また、88ページから93ページに各評価指標が記載されていますが、根拠となるデータに応じて、かならずしもすべての指標を毎年度評価しなければならないわけではないので、毎年評価する指標とそうでない指標は違いがわかるように記載しておいたほうがよいかと思います。

事務局

ご指摘の通り、各事業者の前年度実績を踏まえて評価を実施しますので、87ページの図が正しいスケジュールです。

また、88ページ以降の評価指標について、例えば指標3は、担当課から介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果のデータ提供を受ける必要がありますが、当該調査は毎年度実施されるものではないほか、指標4についても、令和8年度以降に実施する再編後のタイミングなど、交通ネットワークが大きく変動した際に評価することを想定しています。その他の指標についても毎年度実施できないものは区別できるようにしたいと思います。

委員代理

補足として、地域公共交通計画を策定した際や、毎年度の評価を実施した際には、関東運輸局や総務省への送付が必要になりますのでご承知おきください。

委員

ちゅうバスと路線バスの関係について、ちゅうバスは公共交通が不便な地域を主に走るようになっており、経費も多くかかるため、料金についても今後検討が必要になると思いますが、現時点で値上げなども考えているのでしょうか。

また、87ページに基本的な年間スケジュールが示されており、現在は協議会開催にあたって約1週間前に資料を事前送付していただいておりますが、今後はできればもう少し早く資料を送付していただけないでしょうか。

事務局

コロナ禍で利用者が減少したこともあり、ちゅうバスに係る市の補助金額はこれまで以上に増加しています。本計画策定後、直ちに地域公共交通ネットワークの再編に取り組む予定であり、路線バスとちゅうバスの重複解消や、運賃差による競合は、主要な課題と捉えているほか、以前のコミュニティバス検討会議において料金の議論をしていただいている経緯もありますので、これらを踏まえながら再編と並行して料金についても検討が必要と考えております。

資料送付については、直前となってしまい申し訳ございませんが、計画策定後の毎年の評価等にあたっては、もう少し早く送付できるように改善する予定です。

会長

地域公共交通ネットワーク再編計画を3年かけて策定することになりますので、本計画とネットワーク再編計画の関係性や、今後再編に向けて動いていくことについて計画中に明示していただくとともに、再編のなかで料金の在り方も検討していくとのことですので、地域住民に過度な負担となることなく、財政的にも持続可能な仕組みとなるよう、しっかりと議論する必要があります。

委員

先ほど指摘があったように事業11と事業16の違いはわかりやすくしていただくとともに、施設の送迎車を運転する方は普通運転免許であることが多く、ボランティア輸送についても事故があった際の責任はどのようにするかなど、慎重な議論が必要ですので、その旨記載するとよいと思いました。

また、本文中には専門用語が使用されており、専門家でない方にはわかりづらい箇所もありますので、最後に用語の解説もありますが、丁寧に説明していただきたいと思います。

事務局

地区内交通手段の在り方として、どのような手段が考えられるかを含めて今後検討する必要がありますが、考えられる手段などについてもう少し詳細な説明を入れるなど工夫しつつ、各地域の必要に応じて検討していきたいと考えています。

専門用語については、5月のオープンハウスにおいても横文字が多いと理解しにくいといったご意見もありましたので、なるべく専門用語を使わずに整理するよう留意はしていましたが、どうしても使わざるを得ない箇所は用語解説で説明したいと思います。

副会長

72ページの事業2と、ご指摘のあった今後の運賃の検討に関して、再編は交通手段の使われ方を考えながら実施するもので、運賃に応じて交通手段の使われ方は変わるため、再編と運賃の検討は同時に行う旨を事業2に記載することも考えられます。

また、説明文のなかに「再編により交通不便地域が発生しないよう、新たなモビリティの導入可能性等についても～」という文章がありますが、評価指標では「新たな移動手段」、事業3では「地区内交通手段」、事業17では「MaaS、自動運転、新たな移動手段等」という表記があり、事業体系のなかで事業2と事業17はあまり関係しないほか、おそらく事業11や16も新たな移動手段に入る想定かと思えますので、全体的に座りが悪い印象があります。

交通不便地域が増加することを懸念する住民の方への配慮もありますが、ちゅうバスが運行しない地域に必ず新たな手段を検討するということではなく、事業3のような地区内における移動手段を確保することが今後の課題であるとする、「再編により交通不便地域が発生しないよう～」という直接的な表記では、逆に検討の幅が狭まってしまうのではないかと懸念します。

ほかにも、68ページの目標2についても、該当する事業は事業2というよりも事業3や事業17の一部ではないかとも思えるので、全体的に整合がとれるように検討してください。

事務局

運賃の検討に関する記載は、73ページ下段の枠内に記載する想定でしたが、事

業に位置付けるかどうかも含めて検討いたします。

表現が統一されていないことや、検討の幅が狭くなる表記になっている点についてもご指摘のとおりかと思しますので、市の意図が伝わるよう整合がとれているか改めて確認いたします。

68ページの表についても、整合が取れているか改めて確認します。

委員

16ページに計画の推進体制が記載されており、「地域」「交通事業者」「行政」の3者が連携するというのはその通りだと思います。事業によっては実施主体に市民と入っているものもありますが、市民・住民の力添えがないとうまく進まない事業もあり、例えば81ページの事業23については、説明文中にも交通ルール・マナーの啓発とあるように、市民の方に意識を変えていただくことも重要です。交通安全計画の策定がメインのため実施主体が府中市・東京都・府中警察署となっているのだと思われ、市民を実施主体とまで言えるかわかりませんが、事業における市民の関わりについても記載があるとよいと思いました。

2点目が、79ページの事業17について、国の基本方針にも記載があるとおり、新たな移動手段等に関する調査研究は必要だと思います。一方で、事業者としてデマンド交通や自動運転についても実証運行等を行っていますが、まだ課題が多いと感じています。新たな移動手段等は目的ではなく手段なので、やることありきではなく、地域課題や交通課題に対してのアプローチとして、何のためにやるのかを整理したうえで検討する必要があると思います。

事務局

事業23については、実施主体の記載内容は、府中市交通安全計画の実施主体をそのまま転記していますが、市民の皆様のご協力があった交通安全という点をご指摘のとおりですので、担当課と調整します。

事業17については、近隣他市でも新たな移動手段等の実証実験等が進んでいますが、それらが本市における課題解決に資するか客観的に分析したうえで、課題解決へのアプローチという観点をもって検討したいと考えています。

会長

他にご意見等はよろしいでしょうか。

多岐にわたってご指摘がありましたので、事務局にはわかりやすい表現方法や図表、解説などを検討していただきたいと思えます。

協議事項について了承としてよろしいでしょうか。

(異議なし)

会長

それでは次第の「その他」でございます。事務局から説明をお願いします。

○事務局

4点ご報告です。

1点目に、次回開催予定について、部会を2月、協議会を3月に予定しています。3月の協議会では、今回の議論とオープンハウスを踏まえた計画案をお諮りし、答申をいただく予定です。

2点目に、令和5年の2月9日付で委員の皆様の任期が満了となりますので、再任に係る手続きを進めております。再任にご同意いただける方は引き続きよろしくお願いいたします。

3点目に、オープンハウスの日程について、1月11日(水)白糸台文化センター、12日(木)西府文化センター、13日(金)フォーリスの3日間で開催し、文化センターについては午前10時から午後4時まで、フォーリスについては午前10時から午後8時までを予定しています。

4点目に、来年度からバリアフリー法に基づく移動等円滑化促進方針等の策定に係る協議会を立ち上げる予定で、委員候補者の方には概要をまとめた資料を机上配付しております。委嘱等の手続きの時期がきましたら詳細は別途ご案内しますが、事前にご確認いただけると幸いです。

○会長

「その他」について、あるいは全体を通して、皆さまからご質問ご意見はございますか。

(発言なし)

それでは、以上を持ちまして本日の府中市地域公共交通協議会を閉会させていただきます。

ご協力ありがとうございました。

以上